

Q. 天文学を学べる大学の数と光赤外の研究室の増加量比較の部分が、厳密な比較になっていないのでは？

A. そもそもここで示した数値は目で数えたものであり、厳密なものではない。

Q. 中小口径望遠鏡群で共同利用をということだが、大学望遠鏡にとっては共同利用は義務ではないはずだが？

A. その通りなので、天文台が望遠鏡時間を買ってそれを共同利用時間として配分するなどの仕組みが考えられる。

C. 広大では望遠鏡共同利用を進めたいと考えている。それが大学内でのプレゼンス向上につながり、安易につぶせなくもなる。大学連携の件も、望遠鏡群としてプロポーザルを受け付けて望遠鏡を持っていない大学も参加できるようにすることはできる。